



▲広野町公式フェイスブック

フェイスブックの運用を開始

- ◆**フェイスブック**
- ◆**発信内容**
- ① 主にホームページのトピックや重要なお知らせを配信します。
 - ② 観光情報や役場の紹介なども配信します。
 - ③ 災害などの特別な場合には、その情報発信に用いることがあります。

現在、ソーシャルメディア※の代表であるツイッターやフェイスブックなどを利用する方が急増し、社会的にも大きな影響力を持っています。

広野町においても、情報提供の円滑化と充実化を図るとともに、町民の方々にリアルタイムの情報を発信していくことを目的にソーシャルメディアを活用した情報発信を行ってまいります。

世帯数 1,943世帯
総人口 5,226人
男性 2,813人
女性 2,813人

2013年10月23日現在
町内居住者数 1,215人
町内居住世帯数 643世帯

おすすめコンテンツ

- 入札情報
- 広野町行 **こちら**
- 農業委員会
- 広野町小・中学校

このホームページについて | 免責事項 | 個人情報保護 | お問い合わせ

◆**用語説明**

※：インターネットを利用して、ユーザーが情報を発信し、あるいは相互に情報をやりとりする情報の伝達手段

◆**運用主体**

総務課企画グループで行います。

フェイスブック以外にも町公式ツイッターや町公式動画チャンネルも開設し、リアルタイムな情報を発信していきます。

また、町民のみならず行政への意見や提案などについても町ホームページ問い合わせの欄から受け付けておりますのでご利用ください。

ニツ沼総合公園などの遊具を更新します

町では、国の福島定住緊急支援交付金（子ども元気復活交付金）を活用し、ニツ沼総合公園および各町営住宅の遊具を更新します。

ニツ沼総合公園の遊具については、更新するすべての遊具を公園南側1箇所に集約し、すべての機能を一つに集約した大型複合遊具を整備

する予定です。

また、ニツ沼総合公園のふわふわドームについては、国の福島避難解除等区域生活環境整備事業を活用し、今年度中に膜の張り替えを行う予定です。



▲広野駅東側の完成予想図

広野駅東側土地利用方針

駅東側開発 確実に前へ

広野駅東側開発（第1期）における土地利用方針が決定されましたのでお知らせします。

広野町復興計画（第1次）において、復興のシンボル事業として位置付けられている広野駅東側開発の土地利用方針が決定しました。

平成25年度末から整備し、平成27年度末の完成を目指します。

開発面積

7.6 畝
（うち有効土地利用面積 5.08 畝）

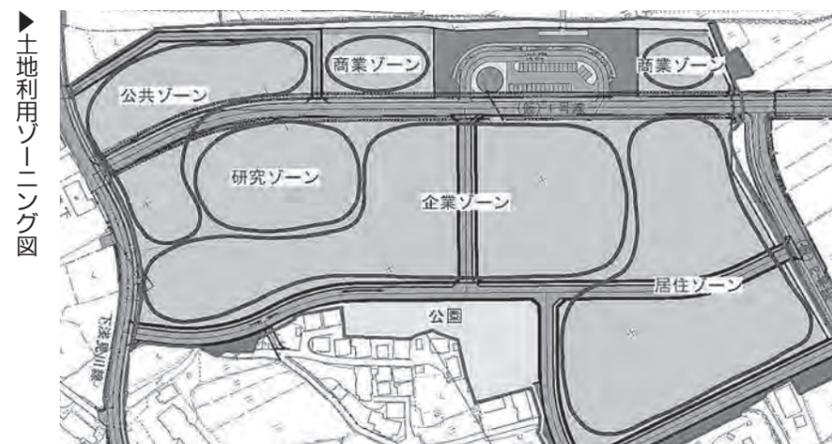
土地利用ゾーニング

- ① 企業ゾーン
- ② 研究ゾーン
- ③ 商業ゾーン
- ④ 居住ゾーン

開発手法

面的整備（造成事業）は町が行い、町の計画に基づき公募プロポーザル（提案型）を実施し、民間主導で施設整備を行います。

⑤ 公共ゾーン
の5つのゾーンに分けて土地利用を図ってまいります。



▶土地利用ゾーニング図